

給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市区町村記入欄					
特別徴収義務者 指 定 番 号				※市区町村ごと に異なります	
連絡先の氏名及び 所属課、係名並び に電話番号				課・係	
				氏名	
				電話	(内線)
異 動 の 事 由				異動後の未徴収 税 額 の 徴 収	退職した年の1 月から退職時ま での給与支払額
1	退職	1. 特別徴収継続		控 除 社 会 保 険 料 額 円	
2	転 勤	2. 一括徴収			
3	合 併	(1月以降は必須)			
4	休 職	月分で納入 (月 日納期分)			
5	長期欠勤				
6	死 亡				
7	会社解散	3. 普通徴収			
8	住所誤報	理由			
9	その他 (特別徴収不可)				
※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、 次のいずれかの理由を必ず選択してください。					
1	(普C)	給与が少なく税額が引けない (例：年間の給与支給額が100万円以下)			
2	(普D)	給与の支払が不定期 (例：給与の支払が毎月でない)			
3	(普E)	事業専従者 (個人事業主のみ対象)			

古 殿 町 長 様		(特別徴収義務者) 給与支払者	住所(居所) 又は所在地	〒																
令和 年 月 日提出			フリガナ																	
			氏名又は名称																	
			代表者の 職氏名印	Ⓢ																
		個人番号 又は法人番号																		
給 与 所 得 者			(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日														
受給者番号	フリガナ			円	月から	月から	..													
氏 名	[旧姓]				円	月まで	月まで													
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日																			
個人番号																				
1月1日 現在の住所																				
給与の支払を受け なくなった後の住所																				

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記入してください。

一 括 徴 収 の 理 由	徴 収 予 定		
1. 異動が令和 年 12 月 31 日 までで、申出があったため (月 日申出)	徴収予定 月 日	徴収予定額	徴収予定額合計 (上記(ウ)と同額)
2. 異動が令和 年 1 月 1 日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため		円	円
異 動 者 印		円	円

相 続 人 の 氏 名 等		
氏名		
住所		
電話		

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)		連絡先の 氏名及び 所属課、 係名並び に電話番号	課・係		新しい勤務先では 月割額	円を
新しい勤務先の住所 (居所)又は所在地	〒		氏名		月分から徴収し、納入します。	
フリガナ			電話		新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。	
氏名又は名称			(内線)		納入書	要 ・ 不要
代表者の職氏名印		Ⓢ				

※市区町村記入欄	
----------	--

御注意
2
1
転勤、再就職等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、前勤務先で最上段の事項を記載し、新勤務先へ送付願います。
また、前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」の欄には「個人番号」は前勤務先で本人から番号の提供を受け記載し、新勤務先へ送付願います。
新勤務先では最下段の事項を記載し、「1月1日現在の住所(課税地)」の市区町村長に送付し、一括徴収することが義務づけられています。
一月一日から四月三十日までの間に退職した人に未徴収税額がある場合には、一括徴収することが義務づけられています。